



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

木村 友紀

1971 京都生まれ
1996 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修了
京都とベルリン在住

個展

- 2022 「COL SPORCAR SI TROVA」 Kunstverein für die Rheinlande und Westfalen (デュッセルドルフ、ドイツ) [カタログ]
- 2019 「Reception」 タカ・イシイギャラリー (東京)
「Reflecting in Sizes」 JENNY' S (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
- 2018 「Wardrobe Extensions Version 4」 Oracle (ベルリン、ドイツ)
- 2016 「Inhuman Transformation of New Year' s Decoration, Obsolete Conception or 2」 CCA Wattis Institute (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ) [カタログ]
- 2015 「THUS AND SO RATHER THAN OTHERWISE」 タカ・イシイギャラリー (東京)
「Harvest, Human Misery」 Mathew Gallery (ベルリン、ドイツ)
- 2014 「The Third Mirror」 The Vanity East (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
- 2013 「An Extra Transparent History」 GLUCK 50 (ミラノ、イタリア) [カタログ]
- 2012 「Interior 6L01~107T」 タカ・イシイギャラリー (京都)
- 2011 セントルイス現代美術館 フロントルーム (セントルイス、ミズーリ州、アメリカ)
- 2010 「無題」 IZU PHOTO MUSEUM (静岡)

- 2009 「1940年は月曜日から始まる閏年」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「POSTERIORITY」 大和プレスビューイングルーム（広島） [カタログ]
- 2007 「FORGETTING RANGE」 児玉画廊（大阪）
- 2006 「YOU MAY ATTEND A PARTY WHERE STRANGE CUSTOMS PREVAIL」 タカ・イシイギャラリー（東京）
[カタログ]
- 2005 「untitled puzzle」 児玉画廊（大阪）
- 2003 「something she doesn' t know」 京都芸術センター（京都）
「new garden」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2002 「deep take」 Highways Gallery（サンタ・モニカ、カリフォルニア州、アメリカ）
「sister」 児玉画廊（大阪）
- 2001 「Handkerchiefs」 LOW（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）
- 2000 「B & B」 colette（パリ、フランス）
「1・2・3」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 1999 「Handkerchiefs」 児玉画廊（大阪）
「クリテリオム 39-子供は子供を産むかな?-」 水戸美術館現代美術センター（茨城）
「TOBACCO」 ドゥラポ（大阪）
「TOBACCO」 ギャラリーココ（京都）
- 1998 ギャラリーゼロ（大阪）
- 1995 タカ・イシイギャラリー（東京）

主なグループ展

- 2023 「Mimesis」 Galerie Barbara Weiss（ベルリン、ドイツ）
「Slow Dance (1)」 Stadtgalerie（ベルン、スイス）

- 2022 「Drive Language Crazy」 The wig (ベルリン、ドイツ)
「Ann' s Research」 Maxwell Graham (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
「2021 年度第 3 期コレクション展」 愛知県美術館 (愛知)
- 2021 「ぎこちない会話への対応策-第三波フェミニズムの視点で」 金沢 21 世紀美術館 (石川) [カタ
ログ]
「Paradis」 Maison R&C (マルセイユ、フランス)
「The Manhattan Art Review」 JENNY' S (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2020 「Arrows」 Galerie Francesca Pia (チューリッヒ、スイス)
「A Restless Rendition」 DREI (ケルン、ドイツ)
第 12 回恵比寿映像祭「時間を想像する」 東京都写真美術館 (東京)
- 2019 「DANICA BARBOZA, JASON HIRATA, YUKI KIMURA, DUANE LINKLATER」 アーティスツ・スペース (ニ
ューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
「タカ・イシイギャラリー 開廊 25 周年記念グループ展: Survived!」 タカ・イシイギャラリー
(東京)
「PARERON: JAPANESE ART OF THE 1980S AND 1990S」 Blum & Poe (ロサンゼルス、カリフォル
ニア州、アメリカ) [カタログ]
「A Fatal Attraction」 Galerie Barbara Weiss (ベルリン、ドイツ)
- 2018 「Catch Me If You Can」 アートラボはしもと (東京)
テグ・フォト・ビエンナーレ (テグ、韓国)
「Way Out」 Jenny' s (ロンドン、イギリス)
- 2017 「Dream Islands」 Nanaimo Art Gallery (ナナイモ、カナダ)
「Plum Shower」 XYZ collective (東京)
California-Pacific Triennial、オレンジカウンティ美術館 (ニューポートビーチ、カリフォル
ニア州、米国) [カタログ]
- 2016 「Moved」 タカ・イシイギャラリー (東京)
「Adrift on Plastic Island」 Galerie Bernhard (チューリッヒ、スイス)
「The Lasting Concept」 ポートランド現代美術協会 (ポートランド、オレゴン州、アメリカ)
- 2015 「Ocean of Images: New Photography 2015」 ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、ニュー
ヨーク州、アメリカ)

- 2014 「これからの写真」 愛知県美術館（愛知） [カタログ]
「Never Enough: Recent Acquisitions of Contemporary Art」 ダラス美術館（ダラス、テキサス州、アメリカ）
- 2013 「MIND RVIDXR」 USC Roski School of Art 3001 & Station Galleries（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）
「In out」 TOLOT / heuristic SHINONOME（東京）
「サイト 一場所の記憶、場所のカー」 広島市現代美術館（広島） [カタログ]
「Photography now and forever」 Mathew Gallery（ベルリン、ドイツ）
「Better Homes」 SculptureCenter（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ） [カタログ]
「ふたたびの出会い IZU PHOTO MUSEUM コレクション展」 IZU PHOTO MUSEUM（静岡） [カタログ]
「Cherry Piking」 Karma International（チューリッヒ、スイス）
- 2012 第4回テグ・フォト・ビエンナーレ（テグ、韓国） [カタログ]
第30回サンパウロ・ビエンナーレ（サンパウロ、ブラジル） [カタログ]
「隠喩としての宇宙」 タカ・イシイギャラリー（京都）
「Mount Fuji does not exist」 Le Plateau / Frac Ile-de-France（パリ、フランス）
「庭をめぐれば」 ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡） [カタログ]
「Sculpture by Other Means」 One and J. Gallery（ソウル、韓国）
- 2011 「ABSTRACT-MAD-STIR-DELIRIUM-COPPER-BOTTOM-WORK-STICK-SHOP」 daadgalerie（ベルリン、ドイツ）
「Conversation with Mathieu Mercier, Takaaki Izumi, Yuki Kimura, Soshi Matsunobe, Kaz Oshiro, and Koki Tanaka, about abstract objects」 Super Window Project / Muzz Program space（京都）
「風穴 もうひとつのコンセプトチュアリズム、アジアから」 国立国際美術館（大阪） [カタログ]
「Reorienting Orientalism, New Directions (Hair Color)」 Deutsche Bank Towers（フランクフルト、ドイツ）
「ORGANIC RELATIONSHIPS」 Center for COSMIC WONDER（大阪）
「クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発」 水戸芸術館現代美術センター（茨城） [カタログ]
- 2010 「Aftermath」 タカ・イシイギャラリー（京都）
「ORGANIC RELATIONSHIPS」 Center for COSMIC WONDER（東京）
「MOT コレクション Plastic Memories - いまを照らす方法」 東京都現代美術館（東京）

- 2009 「EMPORIUM - A New Common Sense of Space」 Museo Nazionale della Scienza e della Tecnologia Leonardo da Vinci (ミラノ、イタリア)
「Circle of Friends」 VACANT (東京)
「インシデンタル・アフエアーズ うつろいゆく日常性の美学」 サントリーミュージアム天保山 (大阪) [カタログ]
- 2008 「大友良英 ENSEMBLES」 山口情報芸術センター (山口)
「Mellow Fever」 La Galerie des Galleries (パリ、フランス)
- 2007 「ラブ?レター 現代女性作家たちから巨匠たちへ」 アサヒビール大山崎山荘美術館 (京都)
- 2006 「IMAGINARY CHUYA 映像としての中世のことば」 山口情報芸術センター (山口)
「Rapt!-20 contemporary artists from Japan」 Monash University Museum of Art (メルボルン、オーストラリア) [カタログ]
「Slow Tech」 Museum of Contemporary Art, Taipei (台北、台湾)
- 2005 横浜トリエンナーレ 2005 (神奈川)、COUMA として [カタログ]
「Set」 タカ・イシイギャラリー (東京)
「Ignore your perspective」 児玉画廊 (京都)、COUMA として
「Table Tennis Players」 art project room ART ZONE (京都)、COUMA として
「In the Neighborhood of Infinity」 Sixteen to One Gallery (サンタ・モニカ、カリフォルニア州、アメリカ)
「Different Channel」 art project room ARTZONE 2F (京都)
- 2004 「Artprojx Cinema Series Two」 Prince Charles Cinema (ロンドン、イギリス)
「b. style in 祇園」 Asphodel (京都)
「10 Year Anniversary Exhibition」 タカ・イシイギャラリー (東京)
「ソコニナニガミエル? 写真をめぐる 4 の表現」 浜田市世界こども美術館 (島根)
「Art in Transit vol.6」 The Palace Side Hotel (京都)
「六本木クロッシング: 日本美術の新しい展望 2004」 森美術館 (東京) [カタログ]
- 2003 「京都クリエイターズ・ミーティング 3」 京都芸術センター (京都)
「Open Studio」 ISCP (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2002 「Pretending to Pretend」 Soap Factory (ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ)
「Chameleon Dreams」 Julia Friedman Gallery (シカゴ、イリノイ州、アメリカ)

- 「いま、話そう 日韓現代美術展」韓国国立現代美術館（ソウル、韓国）；その後 国立国際美術館（大阪）へ巡回
- 2001 「stay with art - 眺めの良い部屋」HOTEL T' POINT（大阪）
 「Surface - contemporary photography and video from Japan」Netherlands Photo Institute（ロッテルダム、オランダ）
 「big IN JAPAN」Cambridge Galleries（ケンブリッジ、カナダ）；その後 Saidye Bronfman Centre for the Arts（モントリオール、カナダ）；Gendai Gallery（トロント、カナダ）へ巡回
 「KYOTO×AMSTERDAM - New Directions -」京都芸術センター（京都）
 「今日の作家展 2001 - Articulate voice」横浜市民ギャラリー（神奈川県）
- 2000 「The Video-Bar」The Northern Photographic Centre（オウル、フィンランド）
 「Screening Japan」Hello!（コペンハーゲン、デンマーク）；その後 Rum46（オーフス、デンマーク）へ巡回
 「The J-Way」Lydmar Hotel（ストックホルム、スウェーデン）
 「PROTOCOLLISION」protocollosion.org（東京、ロッテルダム）
- 1999 第6回イスタンブール・ビエンナーレ（イスタンブール、トルコ）[カタログ]
 「第34回今日の作家展 Approaching Reality」横浜市民ギャラリー（神奈川県）
- 1998 「どないやねん！現代日本の創造力」パリ国立高等美術学校（ボザール）（パリ、フランス）
 「THE FILED OF VISION 見ることの意味」京都市四条ギャラリー（京都）
 「Artist Book '98」ヴォイスギャラリー（京都）
- 1996 「日仏交流展-Without Identity, Without Frontier」旧立誠小学校（京都）
- 1995 「日仏交流展 - 開かれた扉、日本」バステューユ・アトリエ展（パリ、フランス）
 「第4回奨学生美術展」佐藤美術館（東京）
 「Practice 6」ヴォイスギャラリー（京都）
- 1994 「ニューフェイス」ギャラリーView（大阪）
- 1992 「長女大行進」ヴォイスギャラリー（京都）

アーティスト・イン・レジデンス・プログラム

- 2006 Monash University, a visiting academic in the Faculty of Art and Design (メルボルン、オーストラリア)
- 2003 ISCP (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2002 18th Street Arts Complex (サンタ・モニカ、カルフォルニア州、アメリカ)

出版物

- 『An Extra Transparent History』、Mousse Publishing、2015年
- 『DAIWA PRESS VIEWING ROOM vol.09』、大和プレス、2010年
- 『PICTURES OF A MAN』、タカ・イシイギャラリー、2007年
- 『YOU MAY ATTEND A PARTY WHERE STRANGE CUSTOMS PREVAIL』、タカ・イシイギャラリー、2006年
- 『Snap Art Collection - 002: Yuki Kimura』、amus art press、2001年

パブリック・コレクション

- 愛知県美術館 (愛知)
- ダラス美術館 (ダラス、テキサス州、アメリカ)
- IZU PHOTO MUSEUM (静岡)
- Kadist Art Foundation (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)
- 東京都現代美術館 (東京)
- ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 国立国際美術館 (大阪)
- ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡)